

日本プライマリ・ケア連合学会大阪支部 発足記念総会のご案内

謹啓 時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、日本プライマリ・ケア連合学会近畿ブロック支部との連携のもと、学会の「大阪支部」を立ち上げ、発足記念総会を開催する運びとなりましたので、ご案内申し上げます。

今回は準備期間の関係上、大阪地区代議員等による「運営委員会」が中心となって企画させていただきましたが、今後はより広く、大阪府の会員の力が集まる形で支部活動を充実させていく所存です。どうぞ多数の方のご参加・ご参画をよろしくお願い申し上げます。

尚、学会に入られていない方や大阪府以外の方のご参加も、大歓迎いたします。

敬 具

大阪支部運営委員会 代表 梶山泰男

《大阪支部 運営委員》

梶山泰男（中央区東医師会）	大島民旗（西淀病院）	太田祥彦（太田診療所）
恩田光子（大阪薬科大学）	梶原信之（市立池田病院）	木戸友幸（木戸医院）
坂上祐司（東住吉森本病院）	作 功一（作医院）	鈴木富雄（大阪医大）
高橋直子（近畿大学薬学部）	竹中裕昭（竹中医院）	外山 学（益田診療所）
仁科昌久（仁科医院）	西山順滋（関西医大）	森村美奈（大阪市大）
山寺慎一（菜の花診療所）		

記

日 時 3月15日(日) 13:30～16:30 *終了後懇親会

会 場 大阪医科大学 臨床講堂1 (懇親会:本館図書館棟地下1階)

参加費 1,000円 (懇親会参加費:3,000円) ※申込み締切:3月3日(火)まで

次 第

- (1) 大阪支部設立のご挨拶 梶山泰男
- (2) 丸山泉理事長からのメッセージ(ビデオレター)
- (3) 経過報告と学会の支部支援活動 外山 学
- (4) ポートフォリオ発表 (座長:大島民旗)
「Let It Go? (仮)」
CFMDレジデンシー近畿/尼崎医療生協病院 稲岡雄太
鈴木富雄
- (5) 症例提示とミニレクチャー
- (6) ワークショップ
「ポリファーマシーを題材に多職種連携を考える
～薬剤師とのコミュニケーションで困っていませんか」
恩田光子・高橋直子
- (7) 近畿地方会一般演題 プレイバック発表 (座長:竹中裕昭)
 - ①「塩分制限宅配弁当の利用により、劇的に改善した心不全の一例」
仁科医院 仁科一江
 - ②「お父さんは家がいい! と言っているのよ」
旭区医師会訪問看護ステーション 川良淳子
- (8) 今後の大阪支部の運営について

主 催:日本プライマリ・ケア連合学会 大阪支部

協 賛:プライマリ・ケアを語ろう・おおさか(日本プライマリ・ケア連合学会 大阪地区勉強会)

*日本医師会生涯教育研修単位 申請中

日本プライマリ・ケア連合学会 専門医・認定医/認定薬剤師単位 申請中

問い合わせ先/大阪市中央区石町2-1-7-515 ㈱ミック大阪内

TEL. 06-6946-0405 FAX. 06-6946-0802
mic-osaka@mub.biglobe.ne.jp

大阪医科大学略図



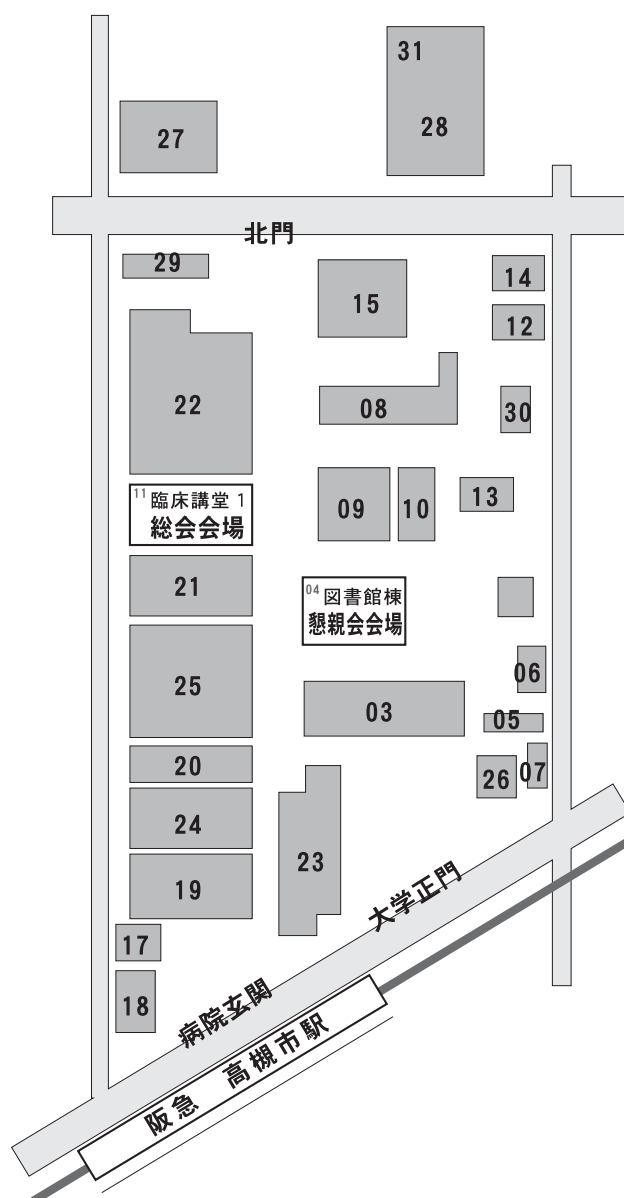
大阪医科大学／附属医院

大阪府高槻市大学町2番7号

電話 072-683-1221 (代表)

電車をご利用の場合

- ◆ 阪急京都線「高槻市」駅下車
1番出口よりすぐ
- ◆ JR東海道本線（JR京都線）「高槻」駅下車
南口より徒歩8分



日本プライマリ・ケア連合学会 大阪支部発足記念総会

内容のご紹介

○経過報告と学会の支部支援活動

現在、学会では、全都府県での支部結成をめざし、ブロック支部を通じてさまざまな支援活動を行っております。学会の支部支援策を紹介するとともに、近畿ブロック支部における府県支部立ち上げに向けての動き、大阪支部設立に至る経緯について、報告させていただきます。

○ポートフォリオ発表

『ポートフォリオ』は経験を通じて自己の振り返りと成長を促すのに効果的な方法で、同時に評価者にはその人の到達点を示すものです。そのため家庭医療後期研修を修了し家庭医療専門医試験を受ける際に必要な提出物となっています。プライマリ・ケアに関わっている方からは『ポートフォリオって何？』という声もいただきますので、今回はショーケース・ポートフォリオ（最良作品型）という形で、皆さんにポートフォリオのイメージを掴んでいただきたいと思います。発表者は昨年近畿ブロック家庭医後期研修医ポートフォリオ発表会でベストパフォーマンス賞を受賞した稲岡雄太先生が、新ネタを引っさげて登壇していただきます。

○症例提示とミニレクチャー

プライマリ・ケア／家庭医療／総合診療的アプローチが奏功し、患者さんにとって有益であった事例について勉強します。診療所の（ベテラン）医師にとっては、日常診療の役に立ち、若手医師や学生、病院での指導医にとっては、そのようなアプローチの重要性を今一度認識する機会としていただければ幸いです。

○ワークショップ「ポリファーマシーを題材に多職種連携を考える ～薬剤師とのコミュニケーションで困っていませんか」

安全で質の高い医療の提供のためには、薬剤師との良好なコミュニケーションが不可欠ですが、残念ながら現場では、さまざまな摩擦やいき違いもみられるのではないのでしょうか。超高齢社会を迎え、ますます重要な問題となっているポリファーマシー（多剤処方・不適切処方）の問題を題材に、薬剤師との距離が縮まるような場を提供します。学会の「プライマリ・ケア認定薬剤師」についても紹介いたします。

○近畿地方会一般演題 プレイバック発表

11月30日（日）に千里阪急ホテルで行われました近畿地方会一般演題の中で、大阪で行われました特にすばらしい試みを是非、みなさまともう一度共有致したく企画しました。

・「塩分制限宅配弁当の利用により、劇的に改善した心不全の一例」

「先生、このお薬は一生飲み続けなければいけないですか？」 患者さんからよく尋ねられる質問です。入院すれば改善するが、退院すればまた元の状態に戻ってしまう・・・多くの臨床医にとって悩ましい問題です。それらに 대응するように、一食あたりの塩分2～2.5gという塩分制限を宅配弁当を利用することで実現し、患者さんを利尿薬をはじめ、降圧薬からも開放した試みです。ポリファーマシーから脱却する一つのヒントとなりうる試みとしても注目されます。

・「お父さんは家がいい！って言っているのよ」

介護力が足りないためにご本人やご家族の御意向に沿えず、在宅移行をあきらめる事例が多い中、患者本人の残存能力を高め、介護力を補ったという試みは非常に興味深く、今後、加速する高齢化の中で、少ない介護力でも患者さんやご家族に寄り添うケアを行いたい多くの方の日常臨床実践上のヒントになると考えられます。多くの職種の方に是非共有していただきたい試みです。若手医師にはポートフォリオの参考となる試みでしょう。

○今後の大阪支部の運営について

発足記念行事のプログラムに関しましては日程的にタイトなため、企画・運営は運営委員会により進めさせていただきました。しかしながら、今後の大阪支部の運営に関しましては、皆様から広くご意見を伺いながら進めていくことが望ましいと思われれます。この機会に是非、皆様のご意見をお聞かせください。